

大洗町立小・中学校における不祥事根絶に向けた取組

大洗町立第一中学校長

岩城 和久

今般、全国及び県内において、教職員による不祥事が続いていることは、学校教育に対する児童生徒及び保護者や地域社会の信頼を失う極めて深刻な事態と受け止めております。

本校においては、これまでも、学校における不祥事根絶に向けた取組や研修を行ってきており、現在まで「不祥事ゼロ」を継続しております。

今後も、「不祥事ゼロ」を継続していくために、すべての教職員が、不祥事を自分事として捉え、自身の行為が教育全体に影響するということを強く意識していくことが重要だと考えております。

このため、教職員一人一人が、次に掲げる「不祥事根絶に向けた取組」の徹底を図るとともに、学校全体として不祥事根絶に取り組んで参ります。

不祥事根絶に向けた取組の行動指針 三つの約束

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 人権を尊重し、誰もが安心して生活できる学校づくりに努めます。2 交通法規を遵守し、思いやりとゆずり合いの心をもって安全な運転を心掛けます。3 個人情報・金銭を厳格に管理し、大切に守ります。 |
|--|

【コンプライアンス「たいせつです」運動】

1. 「た」 体罰・暴言によらない生徒・児童理解に基づく指導
 - 体罰や暴言は児童生徒の発達に深刻な影響を及ぼすことを理解する。
 - ・生徒指導対応を教員一人が抱え込むことなく、組織による指導体制を徹底する。
2. 「い」 飲酒運転をしない・させない・許さない教職員集団づくり
 - 飲酒運転は、人命にかかわる重大な事故に直結する極めて危険な行為であることを理解する。
 - ・飲酒の場を設けた時の移動方法の確認と飲酒翌日の運転に注意する。
3. 「せ」 セクハラ・わいせつ（含む盗撮行為）の防止・排除
 - 児童生徒に対する性暴力等は、心身に対する重大な影響を与えることを理解する。
 - ・男女の教員が連携し、トイレ・更衣室・教室等の隅々を巡視し教育環境整備を行い、違和感に気づき、共有を図り即時対応する。
4. 「つ」 使い込みのない厳正な金銭管理
 - 公金の運営については、健全や潔白を求められ、ミスは業務上横領罪が問われることを理解する。
 - ・担当者だけに任されるのではなく、常に管理職、学校事務職員、各種主任等複数で確認し正確に行う。
5. 「で」 データ漏洩の未然防止
 - 個人情報の漏洩は、個人の権利・利益を害する恐れが大きいことを理解する。
 - ・データの発信は、通信内容や添付ファイルを再度確認し、複数の職員が点検する。
6. 「す」 スピード違反のない安全な自動車運転
 - スピード違反は、傷害はもちろんのこと人命にかかわる原因になっていることを理解する。
 - ・自動車での移動は時間の余裕をもって行い、やむを得ない遅れは、まず関係者に連絡をしてから行動する。